

市民の皆さま、はじめまして。高島 峻輔です。

5月1日より市長に就任し、その責任の重さを感じるとともに、市民の皆さまと共にまちづくりを進めていくことを、とても楽しみにしています。

これから、一緒に芦屋の未来を創ってまいりましょう。

さて、新型コロナウイルス感染症については、5月8日より感染症法上の取扱いが「5類」となり、法律に基づく外出自粛が無くなるなど、私たちの日々の暮らしが大きく変わります。その一方で、今後も感染が継続することや、流行の第9波が来る可能性も否定できない状況にあります。

こうした状況下でも、私はこの芦屋のまちを、人にやさしく、市民の皆さまが健康で幸せに暮らせるまちにしたいと考えています。

そこで、私から3つのお願いがございます。

まず、体調が悪い時には、ご自身のことを大切にしてください。無理をせずに療養を行い、体調が思わしくないときには兵庫県の新型コロナウイルス感染症健康総合相談窓口にご相談するなど、体調の回復を大切にしていきたいと思えます。

次に、周りの方のことを大切にしてください。

新型コロナウイルス感染症は、ご自身の意思に関係なく、周囲の人々に感染してしまう可能性をもつウイルスです。特に、発症日の前後数日間はそのリスクが高いといわれていますので、意図せず感染を広げてしまわないよう、外出や高齢者など感染リスクの高い方との接触を控えたり、マスクを着用したりするなどの対応をご検討ください。

最後に、換気や手洗い・手指消毒など、基本的な感染対策を続けてください。今回の新型コロナウイルス感染症への対応でその重要性を再認識したところでございますが、どうか今後も継続して実施していただき、感染症に強い暮らしを、一緒につくっていただきたいと考えています。

今こそ、市民の皆さまのお力こそが必要です。これからの未来に向けて、感染症に負けない新しい日常を、共に創っていきましょう。

令和5年5月8日
芦屋市長 高島 峻輔

感染症対策や、重症化リスクが高い方等への配慮に取り組みましょう！

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更され、感染対策は個人や事業者の主体的な選択を尊重し、それぞれの判断に委ねることが基本とされました。

しかし、感染症そのものが無くなったわけではなく、健康を守るために、感染対策は引き続き重要です。

安心で健康な毎日をつくるため、下記を参考に、各自での感染対策に取り組んでください。

令和5年5月8日 芦屋市

感染した場合や感染が疑われる場合は、慎重に行動しましょう

体調(の変化)に注意しながら、しっかりと療養しましょう。

また、発症の前後の数日間は、意図せず感染を広げてしまいやすいことに注意しましょう。

<考えられる対応>

- ・ 発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日目として5日間(5日目に症状が続いていた場合は、症状が軽快して24時間程度が経過するまで)は外出を控える。
- ・ 次の期間は、感染が広がるリスク(又は感染が広がった場合のリスク)が高い場面・行動は避ける。
 - 1) ご自身の発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日目として10日間
 - 2) 同居家族等の発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日として7日間

「三つの密」に気をつけましょう

「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」の3つの条件が揃う状況では、クラスター(集団感染)が発生するリスクが高いことに注意しましょう。

<考えられる対応>

- ・ 「密閉空間」を避けるため、換気をする。
- ・ 感染症に対するリスクが高い方の参加が見込まれる場合等は、「密集」や「密接」に特に注意する。
- ・ 「密」が想定されるイベント等への参加は、ご自身の健康状態等を踏まえて検討する。

マスクの着用や、手指等の消毒について

感染を広げないための手段としてマスクを活用しましょう。また、ウイルスが付着した手指で目・口・鼻等を触ることによる感染を防ぐため、場面に応じて、手洗いや手指・物品の消毒に取り組みましょう。

<考えられる対応>

- ・ 発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日目として、10日目までの期間のマスクの着用
- ・ 同居家族等の発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日として、7日目までの期間のマスクの着用
- ・ 感染が広がるリスクが高い場面(「密」が生じる場面等)や、感染が広がった場合のリスクが高い場面(重症化リスクが高い方と接する場合等)におけるマスクの着用
- ・ 食事前等に手洗いや手指消毒を行う。また、手洗いが困難な場合等を中心に、物品を消毒する。

